

2023年度 環境経営レポート

対象期間：2023年 8月 1日～2024年 7月31日



作成日：2024年 12月 18日



株式会社北栄産業は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

株式会社 北栄産業

目 次

1 . 組織概要	-----	1
2 . 対象範囲(認証・登録範囲)・レポート対象期間及び発行日		
・組織図	-----	5
3 . 環境経営方針	-----	7
4 . 環境経営目標(中長期)・環境経営計画	-----	8
5 . 環境経営目標及び達成状況		
・環境経営活動計画及び取組結果と評価・次年度の取り組み	--	9
6 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果		
並びに違反・訴訟等の有無	-----	11
7 . 代表者による全体の評価と見直し・指示	-----	13

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 北栄産業

代表取締役 宮川 裕介

法人設立年月日 平成20年 8月11日

資本金 2,000万円

(2) 所在地

本社 長野県上高井郡高山村大字高井5015番地3

置場 ① 長野県上高井郡高山村大字高井字紫裏7858番地1

置場 ② 長野県上高井郡高山村大字高井313番地1

残土処分場 長野県上高井郡高山村大字高井5181番地3

本社営業所 長野県上高井郡高山村大字高井5181番地3

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 宮川 裕介

担当者 経理 宮川 寛子

連絡先 TEL : 026-245-4683 メール : h.miyagawa@hokuei-sangyo.jp

(4) 事業内容

●総合建設業(土木、解体、とび・土工、舗装)

【特定建設業】

許可番号：長野県知事許可（特－3）第23575号

許可年月日：令和3年7月22日

許可の有効期限：令和8年7月21日

建設業の種類：

土木、とび・土工、石工、鋼構造物工、舗装、しゅんせつ、塗装、水道施設、解体

●産業廃棄物収集運搬業

【産業廃棄物収集運搬許可証】

許可番号：長野県知事許可 第2006162118号

許可年月日：令和3年9月6日

許可の有効年月日：令和8年9月5日

事業の範囲：収集運搬（積替保管を除く。）する産業廃棄物

産業廃棄物の種類：廃プラスチック類（石綿含有廃棄物又は水銀使用製品産業廃棄物を含む。）

紙くず、木くず、繊維くず、金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む。）、ガラスくず、

コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有廃棄物を含む。）がれき類（石綿含有廃棄物

を含む。）（廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずは、

自動車等破砕物を除く。）以上いずれも特別管理産業廃棄物を除く。

●一般廃棄物収集運搬業

【一般廃棄物収集運搬許可証】

●高山村

許可番号：5高住許可第7号

許可年月日：令和5年3月24日

許可の有効年月日：令和7年3月31日

●小布施町

許可番号：小布施町指令4住税第51-29号

許可年月日：令和5年2月17日

許可の有効年月日：令和7年3月31日

●中野市

許可番号：中野市指令4第1493号

許可年月日：令和5年3月6日

許可の有効年月日：令和7年5月14日

●長野市

許可番号：長野市許可第15014号

許可年月日：令和5年4月22日

許可の有効年月日：令和7年4月21日

●残土処分場

●登録ストックヤード

ストックヤード運営事業者：国関整建一産ス第43号 登録番号：第20000117号

登録ストックヤード：第20000117-200001号

登録年月日：令和6年5月30日

登録有効期間：令和11年5月29日

●一般貨物自動車運送事業

北信交貨第19号

事業者番号：貨物-340004577

許可年月日：令和4年5月13日

(5) 事業の規模

	単 位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売 上 高	千 円	245,599	478,055	486,870	457,633	406,994	393,162
従 業 員	人	10	10	11	10	10	8
事務所床面積	m ²	151.75	151.75	151.75	151.75	151.75	151.75
置 場 ①	m ²	2,053	2,053	2,053	2,053	2,053	2,053
置 場 ②	m ²	201	201	201	201	201	201
残土処分場	m ²		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
本社営業所 事務所床面積	m ²				51.84	51.84	51.84
産業廃棄物 収集運搬量	t	1,547.4	2,869.0	127.5	1,393.9	252.8	243.4
一般廃棄物 収集運搬量	t			3.2	0.0	2.3	0.0

(6) 産業廃棄物収集運搬許可車両一覧表

	車両ナンバー	車体形状	最大積載量
1	長野 100 は 2252	三菱 脱着装置付コンテナ専用車	10.10t
2	長野 480 す 6017	ダイハツ バン	0.35t
3	長野 480 そ 6076	ダイハツ キャブオーバ	0.35t
4	長野 400 ち 8899	日野 2tダンプ	2.00t
5	長野 100 せ 1185	トヨタ ハイラックス ボンネット	0.50t
6	長野 100 は 3456	日野 脱着装置付コンテナ専用車(大型)	7.90t
7	長野 100 き 5000	三菱 大型ダンプ	8.90t
8	長野 130 あ 5100	日野 大型ダンプ	8.10t
9	長野 130 あ 5200	三菱 大型ダンプ	8.70t
10	長野 130 あ 5300	日野 大型ダンプ	7.80t
11	長野 130 あ 5400	日野 大型ダンプ	8.10t
12	長野 130 か 5500	いすゞ 大型ダンプ	8.90t
13	長野 130 あ 5600	日野 大型ダンプ	8.20t

計 13 台

(7) 主な環境負荷の実績

	単 位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
CO2排出量	kg-CO2	159,819	325,087	591,091	596,347	558,840	477,239
電力	kWh	70,275	11,656	17,444	17,806	16,807	16,466
ガソリン	ℓ	7,383	7,294	3,918	3,952	2,367	2,213
軽油	ℓ	52,643	117,017	222,128	224,741	211,257	179,732
灯油	ℓ	390	398	412	240	777	866
一般廃棄物排出量	kg	351	365	351	303	289	269
産業廃棄物排出量	t	1,748	1,209	1,198	1,331	972	738
産業廃棄物リサイクル率	%	63	61	76	86	84	78
総排水量	m ³	76	35	241	173	159	119

※中部電力㈱ 2020年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.379kg-CO2/kWh を使用

※PRTR制度対象の化学物質は使用していない

	単 位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
原単位	kg-CO2/千円	0.65	0.68	1.21	1.30	1.37	1.21

2. 対象範囲(認証・登録範囲)・レポート対象期間及び発行日・組織図

- (1) 認証・登録の対象組織・活動

全組織・全活動・全従業員

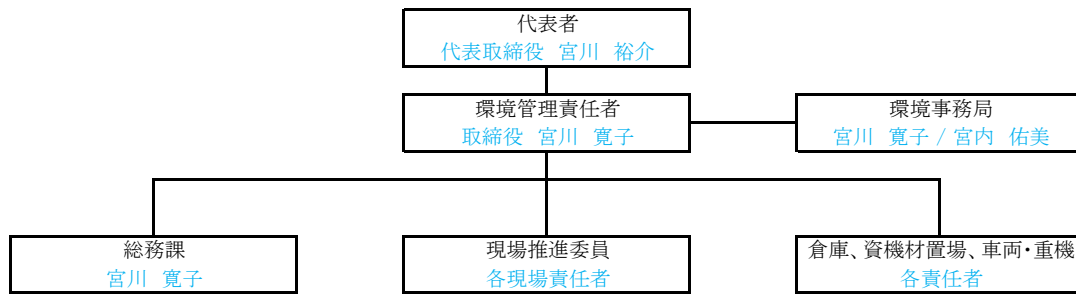
- (2) レポート対象期間

2023年 8月 1日～翌 7月 31日

- (3) 発行日

2024年 12月 18日

環境経営システム組織図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長) 代表取締役 宮川裕介	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営活動レポートの承認
環境管理責任者 取締役 宮川 寛子	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境経営目標・環境活動計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営活動レポートの確認
環境事務局 宮川 寛子 宮内 佑美	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長 現場責任者	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

【基本理念】

株式会社北栄産業は、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境に配慮した事業活動を行います。法令遵守を徹底し、出来ることから少しずつ環境への負荷低減に努めるとともに循環型社会を目指した活動に積極的に取り組みます。

【基本方針】

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

1. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ① 化石燃料使用量の削減。
 - ② 使用電力量の削減。
2. 分別の徹底、リサイクルを推進し、廃棄物排出量の削減に努めます。
3. 地域の環境保全を行うため、環境に配慮した施工活動に努めます。
4. 環境経営方針は、全社員に周知するとともに環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. 定期的に地域貢献を行い、地域社会とのコミュニケーションに努めます。

制定日：2017年 8月1日

改定日：2020年10月6日

株式会社 北栄産業

代表取締役 宮川 裕介

4-1. 環境経営目標(中長期)

8月～翌7月

項目	単位	基準値 (2020年度)	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2 (%)	591,091	579,269	573,358
			100%	98%	97%
	電力	kWh	17,444	17,095	16,921
	ガソリン	ℓ	3,918	3,840	3,800
	軽油	ℓ	222,128	217,685	215,464
	灯油	ℓ	412	404	400
	一般廃棄物	kg	351	344	340
	産業廃棄物	t	1,198	1,174	1,162
	産業廃棄物リサイクル率	%	76	77	78
	水使用量	m³	241	236	234

中部電力㈱ 2020年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.379kg-CO2/kWhを使用

4-2. 環境経営計画

(1) 二酸化炭素削減について

8月～翌7月

電気使用量の削減	節電の徹底	事務所内…外出時/不在時/昼休みの消灯 事務所/倉庫の不要照明・不要換気扇オフ
	OA機器適正管理	未使用時電源オフ/スリープ・省エネモードの設定
	退社時電源チェック	目視確認・呼び掛け
	クールビズの徹底	毎年5月～10月まで実施する
	冷暖房の温度設定	冷房温度28℃・暖房温度20℃と設定

全車両(会社所有・通勤車両)に適用する

ガソリン・軽油 使用量の削減	エコドライブの実施	急発進・急停止排除・経済速度の励行
	アイドリングストップ	アイドリングストップの実践を習慣化・呼び掛け
	運行車両の削減	乗り合わせ等により運行車両を減らす
	車両管理の徹底	車両点検・適正空気圧・エンジンオイル等の管理
	運行管理の徹底	最適運行・最短距離の選択

灯油使用量の削減	灯油ストーブの温度設定	無駄なストーブを使用しない(冬季20℃～22℃)
	退社時の電源チェック	目視確認(最終退出者・同伴者)

廃棄物排出量の削減	一般ごみ削減	無駄なコピーをしない/不要な資料の削減 再利用の促進(裏紙使用等)
	廃棄物の分別	産業廃棄物と有価物の分別

(2) 水使用量の削減

節水の徹底	清掃時・手洗い時の節水	各自にて行う
	洗車時の水量の適正化	バケツの利用・洗浄機の効率の良い使用

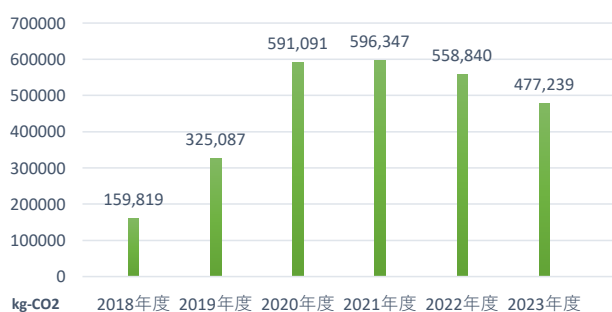
5-1. 環境経営目標及び達成状況

項目		単位	基準値 (2020年度)	2023年度 目標	2023年度 実績	評価
二酸化炭素削減	CO2排出量	kg-CO2 (%)	591,091	573,358	477,239	○
			100%	97%	↓ 81%	○
	電力	kWh	17,444	16,921	16,466	○
	ガソリン	ℓ	3,918	3,800	2,213	○
	軽油	ℓ	222,128	215,464	179,732	○
	灯油	ℓ	412	400	866	×
	一般廃棄物	kg	351	340	269	○
	産業廃棄物	t	1,198	1,162	738	○
	産業廃棄物リサイクル率	%	76	78	78	○
	水使用量	m³	241	234	119	○

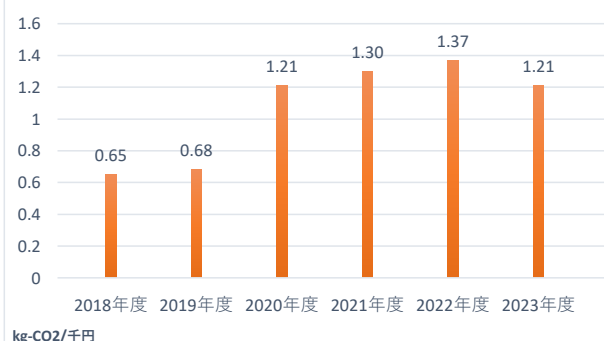
中部電力㈱ 2020年度 二酸化炭素調整後排出係数 0.379kg-CO2/kWh を使用

	単 位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
原単位	kg-CO2/千円	0.65	0.68	1.21	1.30	1.37	1.21

CO2排出量



原単位 kg-CO2/千円



売上高



5-2. 環境経営活動計画及び取組結果と評価・次年度の取組

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×できなかった

	活動計画	取組みの結果	評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	節電の徹底 ・外出時/不在時/昼休みの消灯	外出時/不在時は徹底できた。 昼休みの消灯は出来ていない日もあった。	○	お互い呼び掛け合う等、節電への意識を保つようにし、習慣化していく。
	OA機器適正管理 ・未使用時電源オフ/スリープ ・省エネモードの設定	未使用時にはスリープになるよう設定し、使用時も画面の輝度を下げるなどした。	◎	継続する。
	退社時電源チェック ・目視確認/呼び掛け	お互い呼び掛け合い、指差し確認する等、しっかり実施できた。	◎	継続する。
	クールビズの実施 ・毎年6月～9月まで実施する	薄手の素材やボロシャツ着用等、温度に適した服装心掛けた。	○	健康管理に配慮しながら、軽装の励行。
	冷暖房の温度設定 ・冷房温度28℃/暖房温度20℃と設定	猛暑等は低く、冷え込む時は高く設定してしまう時もあったが、適宜意識的に設定を見直した。	○	うちわや扇子、冷感グッズ、ブランケット等も利用し、カーディガンを着るなど、体感温度を調節する工夫を適時していきたい。
	エコドライブの実施 ・急発進/急停止の禁止/経済速度の励行	意識的に各自実施できた。	◎	ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離すなど、更にエコドライブを意識・心掛けるよう点呼時等に呼び掛けていく。
	アイドリングストップ ・アイドリングストップの実践を習慣化/呼び掛け	呼び掛け合い、無駄なアイドリングを止めるよう意識、実施したが、習慣化には至っていない。	○	無駄なアイドリングを止める意識を常に持ち、習慣化していく。
	運行車両の削減 ・乗り合わせ等により運行車両を減らす	実践できた。	◎	継続する。
	車両管理の徹底 ・車両点検/適正空気圧/エンジンオイル等の管理	日常点検、定期点検を実施し、チェックと管理ができた。	◎	継続する。
	運行管理の徹底 ・最適運行/最短距離の選択	実践できた。	◎	最短距離、効率の良いルートを選択し、環境負荷の低減につながるよう意識する。
	灯油ストーブの温度設定 ・無駄なストーブを使用しない(冬季20℃～22℃) ・退社時の電源チェック(目視確認)	冷え込む時などは目安温度より高くしてしまうことも多かったが、都度下げる等、意識的に設定できた。退社時のチェックも行った。	○	ブランケット等を利用するなど工夫し、無駄にストーブを使用しないようにする。更に温度設定に意識を向けたい。
廃棄物削減	一般ごみ削減 ・無駄なコピーをしない/不要な資料の削減 再利用の促進(裏紙使用)	裏紙を積極的に利用できた。	○	無駄なコピーを更に減らしていく。データでのやり取りを増やすなど、不要な資料の削減に努める。
	廃棄物の分別 ・産業廃棄物と有価物の分別	分別を徹底した。	◎	再生利用の促進にも努める。
水使用量の削減	清掃時・手洗い時の節水 ・各自にて行う	積極的に取り組めた。	◎	各自節水を意識し、習慣化する。
	洗車時の水量の適正化 ・バケツの利用/洗浄機の効率の良い使用	使用量を削減できた。	◎	各自節水を意識し、継続していく。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無

当社の業務に適用となる義務規定(一部それ以外を含む。)の主な環境関連法規等とその主な内容、適用対象等は、次の表のとおりです。また、法規等については最新のものとなるように確認しており、その遵守状況について確認・評価した結果は、チェック欄のとおりです。

また、関係する当局から、違反・訴訟等の指摘は過去3年間ありません。

2024年 11月 16日

NO	主な環境関連法規等	主な内容、適用対象等	チェック
1	○廃棄物処理法 ○廃棄物の適正な処理の確保に関する条例(長野県) ○廃棄物の処理及び清掃に関する条例(高山村) ○工事現場等当該地域における廃棄物条例(条例の名称ではない。)	○一般廃棄物の処理 ○一般廃棄物処理業務実績報告書の提出 ○産業廃棄物の処理 ○産業廃棄物処理計画実施状況報告書の提出 ○産業廃棄物処理計画書の提出 ○産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出 ○産業廃棄物運搬実績報告書(収集運搬業)の提出	○
2	資源有効利用促進法	○再生資源の利用 ○指定副産物に係る再生資源の利用の促進	○
3	建設リサイクル法	○対象建設工事受注者として、分別解体等の実施、再資源化等の実施	○
4	大気汚染防止法	○特定粉じん(石綿＝アスベスト)の規制(特定粉じん排出等作業を伴う建設工事)	○
5	フロン排出抑制法	○第1種特定製品…業務用エアコン ○特定解体工事元請業者として、第1種特定製品の有無の確認及び説明(解体工事現場)	○
6	オフロード法	○基準適合表示等が付された特定特殊自動車の使用	○
7	騒音規制法	○指定地域における特定建設作業	✓
8	振動規制法	○指定地域における特定建設作業	✓
9	水質汚濁防止法	○貯油施設(移動タンク)の事故時の措置	○
10	○消防法 ○高山村火災予防条例 ○工事現場等当該地域における火災予防条例(条例の名称ではない。) 【ここでは危険物に限定】	○指定数量未満の危険物(移動タンク)	○

NO	主な環境関連法規等	主な内容、適用対象等	チェック
11	建設副産物適正処理推進要綱 (平成14年5月 国土交通省)	○建設発生土と建設廃棄物の適正な処理等に係る 総合的な対策を適切に実施するための基準	○
12	既存建築物におけるアスベスト含有建材 の適正撤去・処分に係る手続きについて (実施要領)〈長野県〉	○既存建築物等におけるアスベスト含有建材の適 正撤去・処分に係る手続き	○
13	排出ガス対策型建設機械指定制度(国土 交通省)	○排出ガス基準値を満たした建設機械の使用	○
14	低騒音型・低振動型建設機械指定制度 (国土交通省)	○騒音・振動が相当程度軽減された建設機械の 使用	○
15	貨物自動車運送事業法	○輸送の安全を確保し、適正な貨物自動車運送事業 を行う ○一般貨物自動車運送事業報告書の提出 ○貨物自動車運送事業実績報告書の提出	○
16	道路運送車両法	○所有車両の法定点検・定期点検(3ヶ月点検)・日常 点検	○
17	道路交通法	○積載重量の遵守・飲酒運転の禁止	○
18	自動車リサイクル法	○使用済み自動車の適正な事業者(引取登録事業 者)への引き渡し	○

注)チェック欄…○:遵守 ×:不遵守 ✓:該当なし確認 (―:判断なし)

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

見直し 関連情報	項 目		確認(必要に応じてコメントを記載)
	1	エコアクション21文書	☒ 活動記録として作成する。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒ 継続して取り組む。
	3	環境経営計画及び取組実施状況	☒ 継続して取り組む。
	4	環境関連法規及び順守状況	☒ 活動記録として作成する。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒
	7	取引先・業界・関係行政機関・その他の外部行動	☒
	8	その他()	☒ 特になし。

代表者による 評価と見直し	項 目		変更の必要性	
	1	環境経営方針	有 ・ ☐ 無	
	2	実施体制	有 ・ ☐ 無	
	3	環境経営目標	有 ・ ☐ 無	
	4	環境経営計画	有 ・ ☐ 無	
	5	環境に関する組織	有 ・ ☐ 無	
	6	環境経営システム	有 ・ ☐ 無	
	7	その他	有 ・ ☐ 無	

代表者による全体評価・指示

今年で7年目となった今期のエコアクション21の環境経営活動は、大幅に二酸化炭素排出量を削減することができました。

ガソリン、軽油、産業廃棄物は、目標値より大きく抑えることができ、二酸化炭素排出量の削減に繋がりました。電力、水使用量についても削減できており、社員ひとりひとりの節電、節水への意識が保てている結果だと捉えます。また、建設現場に関しては現場の規模や状況に大きく左右されるため、数値での比較が難しいところですが、今期の環境経営レポートより二酸化炭素排出量売上高原単位を表とグラフに表し比較したところ、こちらも前期より数値に改善が見られ、成果を感じています。

建設業では、建設機械の二酸化炭素排出量が多く、少しでも削減していくことが課題のひとつです。引き続き、安全と環境に配慮した施工を心掛け、改善、創意工夫を推し進め、環境負荷の低減に取り組んでいきましょう。ひとりひとりも身の回りのできることに積極的に取り組み、更に意識を高めていってくださることに期待します。

2024年11月27日
株式会社 北栄産業
代表取締役 宮川 裕介